

# 国際シンポジウム

## ”経済協力”による被害を繰り返さないために――

### 国際協力銀行の環境ガイドラインへ NGO と現地からの提言

日時: 12月3日(日) 10:00-17:00

場所: 早稲田大学国際会議場第3会議室

(JR 高田馬場駅 15分・地下鉄早稲田駅 3分・裏面の地図参照)

日本の経済協力によって途上国で推進される開発プロジェクトが、現地の人々や環境に被害を与える事例は、これまで何度も繰り返されてきました。その原因は多角的に検討されなければなりません。問題を防ぐ方法の一つとして、実施機関である国際協力銀行(JBIC)の環境ガイドラインを強化する作業が進められています。このガイドライン策定に向けて、NGO は独自の調査・研究に基づき、具体的提言を行う準備を進めています。本シンポジウムではフィリピン、インドネシア、タイからの現地報告や識者によるコメントを交えて JBIC 支援プロジェクトの環境・社会配慮のあり方を検証し、望ましい社会・環境ガイドラインについて議論を行います。

(10:00-12:00)

λ JBIC

サムットプラカン下水処理場(タイ)、サンロケ多目的ダム(フィリピン)、ルヌダム(インドネシア)

13:00-15:30

λ

λ

---NGO

λ

15:40-17:00

λ

\*プログラムは変更の可能性があります。

参加費 ¥1,000(会員は¥800)

申込み・問い合わせ: 地球の友ジャパン

Tel: 03-3951-1081 E-mail: [motoyama@foejapan.org](mailto:motoyama@foejapan.org)

ホームページ: <http://www.foejapan.org/aid>

